

地域にプラッ



# ちいぶら通信



地域連携活動報告書

VOL.2





## VOL.2

埼玉県内飲食店と「実践食事学」でコラボしました！ 國井大輔・・・1

プラスごはんプロジェクト  
～清瀬市旭が丘団地に関する活動報告～ 菅原沙恵子・・・3

地域児童のヘルスリテラシー向上のための食育支援 徳野裕子・・・5

親子でまなぶ認知症 富井友子・・・7

地域魅力化につなげる人-TSUNAGI 教育プロジェクト 羽田邦弘・・・9

人間生活学部 健康栄養学科 活動報告 林 典子・・・11

大学内での不登校支援教室とことこぶらすのへや  
子育て応援フード&コスメパントリー 星野敦子・・・13

文芸文化学科日本語学ゼミの1年（3年生） 星野祐子・・・15





## VOL.2

多様性交流サロン みんなのひろば☆きらり 人見優子 . . . 17

2024年度 ほっとカフェ活動報告 山口由美 . . . 18

食品開発学科 開発女子たちによる  
フォーチュンオレンジジェラート  
食品開発学科と社会情報デザイン学科の学生たちによる  
新座産クラフトビール『BELLUME ベルーム』 渡辺章夫 . . . 19

+(プラス)ママの子育てサロン 人間生活科学研究所 渡邊孝枝 . . . 21

プラスちゃんくらぶ 2024年度 活動報告 第2弾 星野祐子 . . . 23

ボランティアセンター 後期活動報告 佐藤 陽 . . . 25

地域連携推進課の活動 . . . 28

学生・教員・地域が一体となって、実施した活動をまとめました。  
いきいきとした学生の姿をご覧ください。



# 埼玉県内飲食店と「実践食事学」でコラボしました！ ～ 栄養管理技術を介した地域連携活動について～

食物栄養学科4年 大美賀 芽生・神田 結衣（國井ゼミ）



埼玉県内でも古くから親しまれている「呉汁」。比企郡川島町では、「かわじま呉汁」として独自にブランド化しています。そんな懐かしい郷土料理を「実践食事学」で深掘りしたので、地域連携活動として紹介します。

今回は、日本最大級のグルメサイトである「食べログ」で、3回連続で百名店に認定されている「本手打ちうどん庄司(川島町)」とコラボしました。



お店の外観



お店で提供している「呉汁うどん」

店内では、「かわじま呉汁」を満たす10種類の野菜を八丁味噌で煮込み、存在感のある砕いた水煮大豆(呉)を加えて「呉汁うどん」として提供されています。この店は、県内外の幅広い年齢の方々から高い評価を得ています。

庄司さんの「呉汁うどん」は、オリジナルの呉汁スープに、独自のレシピで全粒粉を配合し、毎朝手打ちしたうどんを加えて提供しています。※ 冬季のみの限定販売

この麺は、讃岐うどんと違うコシの強さを持ち、ワシワシした食感が楽しめます。スープには、従来の製法を守って製造している八丁味噌の名店である「カクキュー」さんの八丁味噌を使用しています。



川島町でブランド化

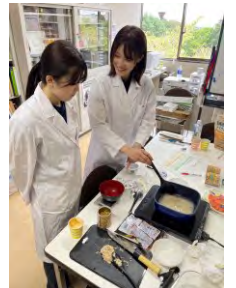


店長たちとのコラボ

## 学生の活動と関わり

ゼミ生は「呉汁うどん」の栄養計算や栄養価の特徴、食文化的価値について調査研究をするだけでなく、店舗で料理を実食したり店主との打ち合わせにも参加しました。

「実食」することで、「実践食事学」が、食事選択にどのように役立つのか体験することが出来ました。



↑ 味の調整試験

← ポスターなどで利用される「実食」ポイントマーク



打ち合わせの様子

この取り組みは、川島町役場（農政産業課）、川島町商工会の協力で実施しました

川島町  
マスコット  
キャラクター



かわみん(左)・かわべえ(右)



川島町役場



川島町商工会

# 2024年度第58回大学祭

竹嶋ゼミ・中岡ゼミ・國井ゼミの3ゼミ合同で、桐華祭で模擬店「俺の本気うどん」を出店しました。

麺は、店で販売している冷凍うどんを仕入れ、スープは、味の調整試験などを参考に庄司さんにも味の確認をいただきました。

2日間で1,400食を完売するほどの人気で、模擬店部門、ポスター部門で優勝することができました。



↑ 庄司さんから試作したスープの合格評価ゲット！



↑ 提供したうどん



← ↑ 味に自信を持って提供しました



← 大学祭の模擬店ポスター

「実践食事学」に関する調査へのご協力お願いします



↑ 店内に掲示しているポスター

## 「実践食事学」による深掘り

「実践食事学」とは、**新たな学びの環境を創設**するために、独自につくられた新しい学問領域です。

「**身体の仕組み**」「**食べ物の仕組み**」「**学びを社会経済につなぐ仕組み**」の3つの学びで構成されています。これまでの学びと異なる点は「**学びを社会経済につなぐこと**」にあります。

実践的に社会経済とつないでいくために、地域の飲食店や小売店、食品メーカーなどの企業に加え、政府・自治体・議員、医療機関や福祉施設などと連携し、新たな学びの環境整備で社会貢献を目指します。



← ↑ 店内に掲示しているポスター



↑ 店内に置いてある卓上スタンドPOP

# プラスごはんプロジェクト ～清瀬市旭が丘団地に関する活動報告～

プラスごはんプロジェクトでは近隣地域への食や料理をキーとした情報の発信、交信、共振により、より良い食環境の整備を目指し、人々の食生活の改善をとおした健康増進を目的として活動しています。

2024年度はプロジェクト活動の一環として、清瀬市旭が丘団地の住民の方々を対象とした健康に関する活動をしたのでご報告いたします。

## 活動その1 「秋のフェスティバル」への参加

健康栄養学科の学生が清瀬市旭が丘団地「秋のフェスティバル」に参加しました。フェスティバルでは、ミルク味とチーズ味のスノーボールクッキーを提供しました。

学生たちは、幅広い年代の方々に“手軽に健康維持・増進にプラス！”となるようなお菓子を提供したいという思いから、スキムミルクや粉チーズを加えカルシウムを強化したクッキーを作製しました。



クッキー提供に向けて準備中！

クッキーとともにカルシウムの重要性についてまとめたリーフレットも配布しました。ご来場者の方がカルシウムについて学生に質問される場面もあり、学生は日頃の学びの成果を発揮していました。



提供の際はクッキーとリーフレットの  
内容について説明しました。



クッキーが大変好評で早々に100個完売しました！

## 活動その2

### 高齢者の方々を対象とした健康に関するミニ講義

健康栄養学科の学生が清瀬市の旭が丘団地に住む高齢者のかたが集う「旭が丘みんなのサロン」にてミニ講義を行いました。

講義の前半は「食と栄養」をテーマとして、栄養バランスのとれた食生活についてご説明し、サロン近くのスーパーで販売されているお惣菜などを活用した時短レシピをご紹介します。

後半は「健康と運動」をテーマに、学生がかけ声や動きの見本を示しながら、効果的なストレッチを参加者の皆様実践していただきました。

参加者の皆様からは大変好評で、「楽しく参加できた」「家でも実践しようと思った」などの感想が寄せられました。

学生たちにとっては、日頃の学びを活かすことができ、大変貴重な経験となりました。



講義の様子



手作りの時短レシピ集



サロンスタッフの皆様と記念の1枚

#### おわりに

食をとおして地域とのつながりを大切にすることは、地域社会の活性化や住民のかたの健康増進のためにも重要であると考えます。

プラスごはんプロジェクトでは、今後も学生を主体として、地域での健康づくり活動を促進してまいります！

# 地域連携活動報告

## 地域児童のヘルスリテラシー向上のための食育支援



プロジェクト代表  
健康栄養学科 徳野 裕子  
toku169@jumonji-u.ac.jp

### ▶ 主な活動目的・目標

<目的>

学校教育（各教科授業、給食、特別活動、学級活動など）におけるヘルスリテラシー向上に関する教育研究と児童における身体（心と体）の安定性の向上

<目標>

- ①教員、児童、保護者のヘルスリテラシーの状況と児童の社会的経済的要因、心理的要因、健康的要因との関係を明らかにする。
- ②肥満傾向の児童の現状を把握し、改善策を見つけ、行動変容につながる提案を行う。
- ③これらの教育的施策の成果を把握するための成果指標の設定を行う。

## 2024年度活動内容

### 5・6年生の給食調査



学生たちと共に小学校へ訪問して給食中の様子を見学し、実際に盛り付けられた給食を計量したり、残食やおかわりした人数などを調査しました。また、児童のみなさんに朝食についての聞き取りを行い、給食との関連性を評価・考察しました。





## ■ 中休みダンス教室



健康栄養学科 飯田路佳教授  
ご指導のもとで、学生が作成  
したダンス動画を使用し、  
「中休みダンス教室」を2学  
期に開催しました！  
また、秋の運動会ではダンス  
の練習成果を披露する時間も  
いただきました。



## ■ ココフレンドでの食育教室・運動教室



ココフレンド（放課後子ども教室）  
では、学生が考案した食に関する遊  
びやエクササイズを、児童のみなさん  
と一緒にを行いました！  
「楽しかった！」「またやりたい！」  
という声を聞くこともでき、学生の  
にとっても貴重な経験となり、また  
励みにもなりました。



# 親子でまなぶ認知症



こんにちは、人間福祉学科富井ゼミです！

富井ゼミは、高齢者の地域ケアについて研究しているゼミです。

ここ数年、地域ケア、地域づくりを実践的に学ぶため、

地域の方に認知症について正しく知ってもらう啓発活動に取り組んでいます。

## ● 新座市オレンジピール 2024 への参加 ●

9月は、世界アルツハイマー月間（認知症月間）！

新座市では、“認知症にやさしいまちづくり”を目指し、

毎年9月に新座市介護保険課主催の普及啓発活動イベントを行っています。

2022年度から参加しているこのイベント、

今年は、「認知症にやさしいまちにいざ展」での展示（親子でまなぶ認知症）参加、

来庁舎へのリーフレット配布のほか、折り紙コーナーの提案・実施もしました！



市民の方と新座市長にも？！PR👍



介護保険課の職員の方から  
新座市の認知症施策や  
PR事業について  
お話も伺いました！

また、今年も十文字学園女子大学の学生さんに協力いただき、来庁者への普及啓発活動を行いました。

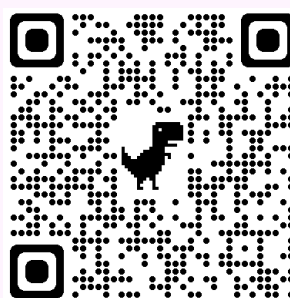


新座市 HP <https://www.city.niiza.lg.jp/soshiki/29/orangepr.html> より

## 桐華祭(学園祭)での出展 “親子でまなぶ認知症” ブース

昨年度から始めた“親子でまなぶ認知症”をテーマとした桐華祭への出展！  
今年は、展示やクイズだけでなく、ブンブンコマ、ハーバリウム、  
スノードーム、紙コップロケットが作れる工作コーナーとゼミ生のアイデア満載！  
子どもたちから大人の方まで  
2日間で120名以上の方にお越し頂きました！  
おやこで認知症について  
一緒に知る機会となってもらえたようです！

子どもたちと工作できたり、  
認知症について知ってもらえたり  
嬉しかったです！



<https://www.instagram.com/jumonjifukushi/?hl=ja>

富井ゼミの活動は  
人間福祉学科のインスタでも紹介しています

人間福祉学科 富井ゼミ



十文字ブランドの  
スコーンのロゴ  
(学生考案)

埼玉県中山間地域ふるさと事業  
調査研究事業(埼玉県農林部)

「ふるさと支援隊活動」

埼玉県秩父郡横瀬町



## 地域魅力化につなげる 人-TSUNAGI 教育プロジェクト

### 令和6年度の活動



#### 地域の人たちとの交流

チャレンジキッチンENgaWA主催の  
七イベントで子供向けのゲームを通  
じた交流活動

「親子ワークショップウィーク」の活動  
として「一日ものづくり体験」のワーク  
ショップの実施

横瀬町産の農産物を使ったスコーン  
とピザの販売



#### 横瀬小学校の授業支援

総合的な学習の時間の授業支援  
(3回シリーズ)

JICAの協力により開発途上国の方  
を招いた異文化交流授業の企画  
と実施

島根県隠岐郡海士町立福井小学校  
とのオンライン授業の企画と実施



#### 農業に関する支援活動

町内芦ヶ久保地域の農家の  
農業活動支援 (イチゴ  
の苗植え)



「ヨコスコ」(令和5年度からシリーズ化)

## 活動の成果

- ❖ スコーンをシリーズ化して2年間販売し横瀬町のイメージアップにつながりました。
- ❖ 横瀬小学校児童の地域理解を教育的側面から支援することができました。
- ❖ 横瀬町の住民の皆さんと仲良くなって信頼関係を築くことができました。
- ❖ ゼミの学生全員が一丸となって取り組むことで絆が深まりました。



寺坂棚田ホタルかがり火祭り(7月)  
七夕の短冊づくり  
水鉄砲、おり紙



親子ワークショップ  
一日保育活動(8月)  
紙粘土、フォト  
フレームづくり



農業支援活動(9月)  
地域おこし協力隊員と  
一緒にイチゴの苗植え



横瀬小学校(10月)  
総合的な学習の時間  
異文化理解の授業  
ミャンマー



餅つきに飛び入り参加



スコーンとピザの準備



希少メープルシロップ

横瀬小学校(11月)  
島根県福井小学校と  
オンラインクイズ



横瀬小学校(11月)  
異文化理解  
ベトナム人講師による授業



ENgaWA  
餅つき大会で  
スコーンとピザを販売



餅つき大会(1月)  
子供たちの  
「はしつかみゲーム」





＊ ＊ ＊ ＊ ＊  
十文字学園女子大学  
人間生活学部  
健康栄養学科  
＊ ＊ ＊ ＊ ＊

林ゼミでは食物アレルギーに関する研究を行っています。  
2024年12月14日に新座市の野火止公民館にて、  
ゼミ生が「米粉deおかしづくり体験」を実施しました！  
食物アレルギーと食品ロスを考えた、体にも地球にも  
優しい米粉を使ったビスキュイ（焼き菓子）づくりと  
食物アレルギーのミニ講座を行いました♡  
さつまいも、かぼちゃ、乳不使用のチョコレート、  
バナナを使った米粉のまーるいビスキュイ、  
参加者のみなさんと一緒に心を込めて丸めて焼きました。



こんな風に丸めてくださいね



地域の成人の方を対象に  
開催しました、



会話も盛り上がってます！



さあ焼きます♪



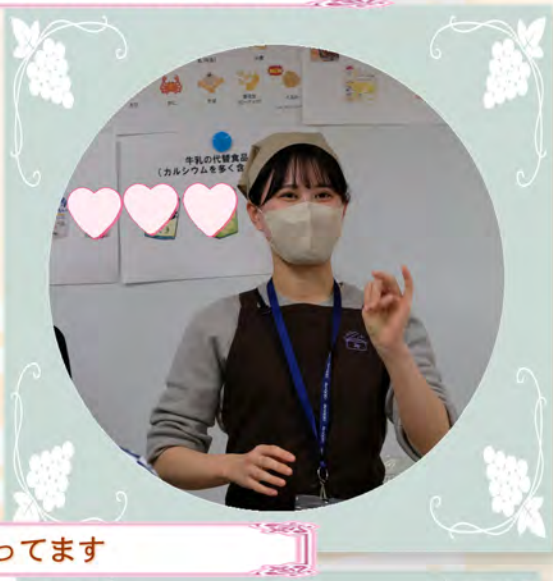
焼けたかなー？



かぼちゃのビスキュイは  
色がきれい！かわいい！

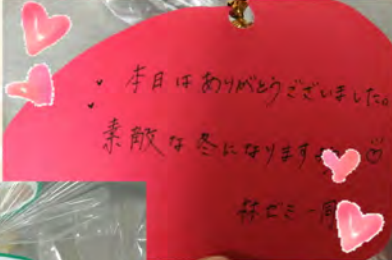


さすが栄養士の卵！ 栄養成分についても丁寧にご説明



みんなサマになってます

米粉のりんごマフィンに参加者の方に  
プレゼントしました☆  
手書きのメッセージも添えました。



実施後のアンケートでは  
参加者全員の方に『大変満足』と  
ご回答いただくことができました！！  
米粉のクッキーやパン、お料理も教えてほしい、  
とご要望もありました。  
今後のゼミ活動の励みになりました。

# 大学内での不登校支援教室 とことこぶらすのへや

## 活動概要

- ・学校に行きづらい、行っていない小・中学生を対象とした新座市教育委員会の「教育支援センター」(出席扱い)を大学内で開講しています。
- ・学習支援や体験活動、遊び、認知トレーニング「コグトレ」などを行っています。
- ・教育、福祉、心理分野を学んでいる学生が中心となって指導を行っています。



12月のクリスマス会はフィンランドのスポーツ「モルック」や輪投げゲームなどで盛り上がりました。

### 【運用】

- ・保護者・兄弟姉妹も参加できる
- ・無料のカフェタイム
- ・独自のカリキュラム

### 【施設】

- ・安全性
- ・空き教室活用
- ・広いグラウンド
- ・雑木林等
- ・駐車場等

### 【スタッフ】

- ・専門性のある学生スタッフ
- ・大学教員
- ・元小学校教諭
- ・新座市指導員
- ・中学教員

**【開講日】** 毎週金曜日 14時～18時

**【対象・定員】** 新座市内の小中学生  
2025年1月現在登録者 計24名  
(小学生14名 中学生10名)

友達と協力してドミノを完成! 苦手な子が多い「協同的な活動」も自然にできるようになってきました。

## 主な依頼講演・視察

2024年8月 ・新座市教育委員会初任者施設研修 ・新座市教育委員会不登校親の会  
・埼玉県議会文教委員会

2024年10月・新座市南部地区地域福祉推進協議会 勉強会

2024年11月・子どもの未来アクション学習会(朝霞市中央公民館)

2024年9月 ・新座市福祉政策課 民生委員児童委員研修会

2025年1月 ・宮城県石巻市議会 ・埼玉県富士見市教育委員会

2025年5月(予定) ・富山県高岡市議会 総務文教常任委員会



# 2025.2.11 @志木市ペアモール商店会 子育て応援フード&コスメパントリー

## 活動概要

- ・2022年度より毎年実施している生活環境研究所主催の子育て支援イベントです。
- ・志木市のたくさんの団体さんが関わって、寄付品を出したり、イベントコーナーを担当しています。本学のボランティアサークル「ゾウキリンくらぶ」も魚釣りゲームや「自転車をこいでつくるフレッシュジュース」のコーナーを担当しました。
- ・パントリーは100世帯、276人が参加しました。

NPO法人志木子育て  
ネットワークひろがる輪

十文字学園女子大学  
生活環境研究所

レッツラヴ  
しき

NPO法人ふんばり

アクアイスト(株)

ecoeat新座店

(株)ミヤケン

大村商事(株)

ぺあも〜る  
商店会

社会福祉法人  
埼玉福祉会

ソラシドキッチン

株式会社愛児舎

株式会社アーバン設計

志木ロータリークラブ

社会福祉法人邑元会  
(HoHoEMi)



大人気「お菓子わなげ」コーナー  
プラスちゃんクッキーのプレゼントも!



自転車をこいで  
ジュースづくり



「ゾウキリンくらぶ」の  
魚釣りゲーム



新鮮野菜やコスメ、食料品、生理用品などの配布、子供服リサイクル  
コーナー、セルフカフェなど盛りだくさんで、大盛況でした。



# 日本語学ゼミの1年



## 絵本ワールド (6月)

POP作成をサポートする  
オリジナルシールを考案。



「にほんごがくゼミ」【日本語学ゼミ】名  
①日本語学を研究する研究室のこと。  
②研究以外の活動にも積極的に取り組む研究室のこと。  
例「—」で培った日本語力やコミュニケーション力を  
活かして、「地域活動に励む」類 ゆうこゼミ



当日ご講演いただいた先生方の絵本のPOP。ゼミ生が作成しました。



書籍販売コーナーに展示された  
ゼミ生手作りのPOP



学内で開催された「絵本ワールド」に  
ゼミとして参加。  
POP作成コーナーを担当し、好きな本のPOP  
を、多くの方に作成していただきました。

## にほんご × にほんご探検隊☆ (7月~)



「日本語検定」(特定非営利活動法人 日本語検定委員会)のキャラクター「にほんご」とゼミ生たちは仲良し。「日本語検定」は、日本語の総合的な能力を測る検定試験です。ゼミ生たちは、現在、「にほんご」のマスコットを用いた教育コンテンツを開発しています。今後、日本語検定委員会のご担当の方と連携しながら、広く発信をしていく予定です。

にほんご探検隊の第一弾の活動は「にほんごんでぬい撮り」です。四字熟語や故事成語を表現します。



ゼミ生たちの活動名は「にほんご探検隊☆」。



絵が得意な学生が描いたイラスト



# いろは大学 (9月)



編み上げるのに、少しコツが  
要ります。



志木市内在住の65歳以上の人が集う「いろは大学」 (@いろは遊学館) でワークショップを行いました。  
皆さんと作ったものは、クラフトバンドを使用したリース。  
ゼミ生たちはテーブルを回りながら、ご参加の皆さんのサポートに努めました。

- きらめきーはっけんーいんーかい「きらめき発見委員会」名
- ① 志木市いろは遊学館と日本語学ゼミで連携して行うイベント。
  - ② 2020年度のゼミ生から代々受け継がれているイベント。
  - ③ 4年生やOGの先輩たちも応援にかけつけてくれるイベント。
- 例「ー」で企画したイベントは、子ども達に人気で、リピーターも多い！

## きらめき発見委員会

### バスボムワークショップ (1月)



重曹・クエン酸・コーンスターチを  
ビニール袋のなかで混ぜます。



昨年度も大好評のワークショップを今年度も実施。好きな香りと好きな色のバスボムを作りました。

### 重曹アートワークショップ (2月)



学生が作成したポスターは  
毎回好評！



重曹と絵の具を混ぜて、  
粘度の高い絵の具を作ります。  
キャンバスに自由に色を置いて完成！

# 多 様 性 交 流 サ ロ ン みんなのひろば☆きらり



みんなのひろば☆きらりとは・・・

2022年に開始した、だれでもが気軽にふらっと立ち寄ることのできる、多世代・多様な人が毎月第四土曜日に集い交流するサロンです。学生は、地域の一員として、毎月の計画・準備・運営を行い、サロンに来る“きっかけ作り”として活動を行っています。みんなのひろば☆きらりは、持続可能な地域活動を実現します。「きらり」の名称も地域での公募、投票により決まりました！



一度で二度も三度も楽しい活動！



- ・地域のゆるきゃらニーズ + 川瀬ゼミ + 参加者投票 = あさごん
  - ・商店会 + スタンプラリー = あたご三丁目、旭が丘地図
  - ・地域ニーズ + 学生運営委員（活動） + 川瀬ゼミ = 毎月のポスター
- 教員実行委員・地域実行委員・学生運営委員（活動・広報）  
地域運営委員（社協あたご三丁目支部）・あたご三丁目町会・西武商店会  
地域連携共同研究所

地域の声が  
歌になった！

ときには夜空見上げて 涙あふれても  
おいてよ いっしょに歌おう  
明日は晴れだよ  
子どもたち おとなたち  
ちがうリズムで手を振る  
笑顔あふれ 心つながってく場所がある

きらり☆ふわり 風が微笑む  
おだやかな光が差し込む街  
さらり流れるあの野火止の  
水に悲しみ流そう  
きらり☆ふわり 歌声ひびき  
生命たたくてきらめく街  
ひかり流れるあの星空に  
きみの願いとけよう  
きみの願いとけよう



みんなのひろば☆きらり

きらり☆ふわり  
作詞・作曲 棚谷祐一

みどりの影がゆれて 木もれ陽がきらり  
明日もまた会えるかな お話しかせて  
春には桜舞い散る そして夏が来て  
秋には紅葉あざやか 冬のひだまり  
子どもたち おとなたち  
今日はなに話すのかな  
笑顔あふれ 心つながってく場所がある

きらり☆ふわり 歌声ひびき  
生命たたくてきらめく街  
ひかり流れるあの星空に  
きみの願いとけよう



☆きらり  
Instagram

2024年度

# ほっとカフェ活動報告

## ①桐華祭への出展 2024.10.26,27

2日間で約160人に参加して  
いただきました。

展示を通して、ほとんどの参加  
者が、認知症に対する考え方が  
変わったと回答されました。



## ②ほっとカフェ開催 2025.1.30



参加学生の感想  
認知症の当事者の方からの  
お話をお聞きし、認知症だか  
らといって限られた活動をす  
るのではなく、認知症の方の  
意思や考えを尊重することが  
大切だと学びました。



食品開発学科 **開発女子** たちによる



# フォーチュンオレンジジェラート



## 2 世代にウケそうな商品を開発せよ

### ～福みかんとは～

- ・埼玉県「ときがわ町」で伝統的に栽培されている特産柑橘
- ・直径3～4 cmの小さい柑橘で種は多い
- ・さわやかな香りと酸味を持つ
- ・11月頃に完熟果として収穫される
- ・ほとんど研究対象とされていない
- ・他地域では福来みかんとも呼ばれている



### ～ふるさと支援隊とは～

令和5年度中山間地域ふるさと事業調査研究事業に採択され、ふるさと支援隊として「Z世代が好む柑橘製品の開発」をテーマに地域活動を実施しています。今年度は福みかんの爽やかな香りと酸味を活かしたジュースの共同開発を行いました。完成した商品はいかに!!



11月 みんなで福みかんの収穫



美味しいジェラートのために  
美味しいマーマレードを作ります!!

できた! その名は…  
**福みかん**  
**フォーチュン オレンジ**

## ジェラート



品名：アイスマルク  
(無脂乳固形分5.7% 乳脂肪分6.3%)

原材料：牛乳(国内製造)、グラニュー糖、生クリーム  
脱脂粉乳、福みかん、レモン果汁、  
ぶどう糖/安定剤(増粘多糖類)、  
(原料の一部に乳成分を含む)

内容量：90mL

保存方法：-18℃以下

**販売予定価格 320円 (税込)**

※ 学内売店フジショップで販売しています

十文字学園女子大学 食品開発学科  
准教授 渡辺 章夫 akio-wa@jumonji-u.ac.jp



学生がデザインしたラベルも完成!!  
仕上げはオクムサデザインの浅見さんにご協力いただきました😊

仕上げはジェラート製造のプロ  
ジェラートマリノさんに委託

リフレッシュしたいときに  
食べてね!!



リーダー Mさん  
趣味は櫻坂46!

リーダー Tさん  
趣味はラーメン巡り!

リーダー Kさん  
趣味はテニス!!

食品開発学科と社会情報デザイン学科の学生たちによる

# 新座産クラフトビール

## 『BELLUME ベルューメ』



# Z

## 世代にウケそうなクラフトビールを開発せよ

### ～新座クラフトとは～

新座クラフトは、新座初のクラフトビール工房として2021年7月に誕生し、新座を盛り上げるビールとして地産地消を目指し、地域のSDGsにも取り組んでいます。



### ～クラフトビール造りに挑戦～



### ～プロジェクトの活動概要～

2024年度 地域連携共同研究所 地域連携プロジェクトに採択され、食品開発学科 渡辺ゼミ、社会情報デザイン学科 川瀬ゼミと松本ゼミでは、新座クラフト様にご協力をいただき、十文字学園女子大学×新座クラフト コラボ企画としてオリジナルクラフトビールを企画・製造しました。

近年若者のビール離れなどでビール類市場の縮小が続く中、クラフトビールは堅調に伸びています。そこで、私たちは、女性や若者、ビールが苦手な人でも飲みやすいオリジナルクラフトビールの開発を目指しました。

企画・製造は食品開発学科の渡辺ゼミが担当し、ネーミングは社会情報デザイン学科の松本ゼミ、ラベルデザインは川瀬ゼミが担当するなど、他学科横断で各専門分野を活かして取り組みました。

十文字学園女子大学 食品開発学科  
准教授 渡辺 章夫 akio-wa@jumonji-u.ac.jp

#### 渡辺ゼミがビール製造を担当!

『ヘレス』をベースに心地良い甘さと深いコクを表現しながら、苦味を抑えたビールです。初心者でも飲みやすく特にZ世代の若者が好むような味わいを実現しました!

できた! ベルューメ その名も...  
**BELLUME**

#### 松本ゼミがネーミングを担当!

『BELLUME(ベルューメ)』は十文字学園の象徴である『桐華』にちなんでベルの形の桐の花とドイツ語で花を意味する『ブルーメ』を掛け合わせた造語です。とても良いネーミングができました!

#### 川瀬ゼミがラベルデザインを担当!

桐の花の「ベル」とクラフトビールで乾杯している楽しい感じをイメージしたデザインに仕上げました!

**是非、一度ご賞味ください!!**



品目: 発泡酒、アルコール分: 5.0%  
内容量: 330ml 販売予定価格: 680円(税込)  
※学内売店フジショップで販売しています

20歳未満の飲酒は法律で禁じられています

# (プラス) ママの子育てサロン

人間生活科学研究所

地域の0歳から3歳のお子さんとママパパのための子育てサロンです！！  
キャンパス内の保育室、森、グラウンド…大学の環境を生かして実施しています。

大学内に保育室？！…保育者を目指す学生の学びのために模擬保育室があります。  
この保育室を活用して、子育てサロンを実施しています。  
保育者を目指している幼児教育学科の学生が、**学生スタッフ**として活躍しています♪

## + (プラス) ママって??

十文字学園女子大学幼児教育学科を卒業した、子育てサロンのスタッフのことです。  
全員が保育経験者+子育て真っ只中！同じ子育て中のママ+保育経験者として、  
一緒に遊んだり、お話ししたりしています。スタッフの子どもたちも参加しています。  
お子さんと一緒に、たっぷり遊ぶ楽しさを味わってみませんか。  
+ (プラス) ママが子育てを楽しく感じられる時間となるよう、お手伝いします。



開催：月2回程度  
時間：9時半から11時半  
対象：0歳から3歳のお子さん  
パパママ、妊婦さん  
場所：122教室、森、グラウンド

詳細はインスタグラムをご覧ください♪

## 遊ぶ！

子どもたちのやってみたい！を大切に  
じっとみている目の先に何かあるのかな？

何を触ってみたいかな？

+ (プラス) ママも学生スタッフも  
子どもたちの思いを大切に遊びを支えています。  
遊んでいると、子どもたちも自然に関わって  
パパママの交流も生まれます。  
遊びって、面白い！！





# 学生スタッフ、大活躍中♪

今日は何を描こうかな？  
季節の絵もお手のもの！



この車、その名も「ダンボルギーニ」  
1年生が授業で作った遊具を譲り受け  
こどもたちの運転、サポートします！



読み聞かせをするのは4年生！  
子どもの様子に合わせて  
即興手遊びも！



「身体表現論」 + (プラス) ママの子育てサロン

授業内で学生が遊び場をプロデュース！！  
子どもたちが自然と遊び出す  
「もの」や「こと」を考えて環境を工夫しました♪  
この日はサブアリーナで広々遊びました！

学生スタッフは、1年生から4年生までが活躍しています。

1年生は、前期の実習を終えた後期から参加可能です。

最初は子どもたちと遊ぶことに夢中な学生が、徐々に+ (プラス) ママの環境づくりや振る舞いをじっくりと見るようになり、学びとり、工夫しようとする姿が見られるようになります。

なかには毎回参加する学生スタッフも！

ここで学びを深めながら、子どもたちと全力で遊ぶ頼もしい学生スタッフです！！

## ★お問い合わせ★



✉ [plasmama@jumonji-u.ac.jp](mailto:plasmama@jumonji-u.ac.jp)

☎ 048-477-0555 内線380(幼児教育学科)

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

交通アクセス: JR武蔵野線 新座駅 徒歩8分

メールはこちら



公式Instagram



# プラスちゃんくらぶ

2024年度 活動報告 第2弾



夏フェスin中央公民館 (8月7日)  
@和光市立中央公民館

和光市内の小学生を中心に、多くの子どもたちが参加。プラスちゃんくらぶでは、ロゼット作り、バスゴム作り、謎解きイベントを企画・運営しました。また、社会情報デザイン学科のメンバーが、生成AIを活用したぬり絵ワークショップのサポートを行いました。



PCでオリジナルのぬり絵を作ります。

ぬり絵



謎解き

クラフトワークは大人気!

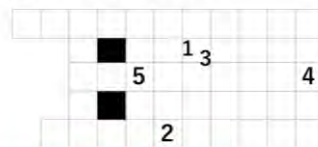


ロゼット



バスゴム

謎1 1 2 3 4 5 = ?



五十音図を考えてみよう  
和光市はOOOOO発見のまち

謎3 四季(しき)の間を読みめ



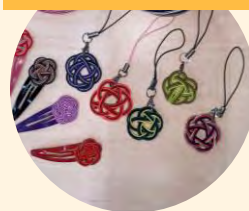
ぺあも〜るマーケット (8月24日)  
@柳瀬川駅前専門店街「ぺあも〜る」



水引ワークショップを実施しました。浴衣にもぴったりの和風のアクセサリーです。ぺあも〜る商店会の「エーデルワイス」さんに作っていただいた「プラスちゃんクッキー」も好評でした。



水引アクセサリー



桐華祭 (10月26日・27日)  
@十文字学園女子大学

生成AIを使った「ぬり絵ワークショップ」を、ソルクリエイト(株)の代表取締役社長とCOOのお二人にサポートいただき開催。ご来場の方に、効果的なプロンプトを考えていただき、オリジナルのぬり絵を作っていただきました。その他、メタバース体験、ロゼット作り、プラ板作りなども実施しました!

メタバース体験

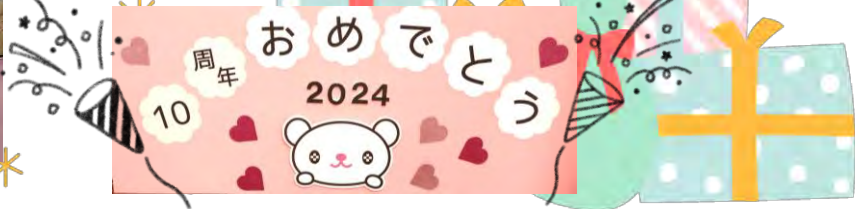


ロゼット作り



パネルシアター

学園祭でも「プラスちゃんクッキー」は完売!



**SAITAMA子育て応援フェスタ**  
(11月16日・17日)  
@さいたまスーパーアリーナ



今年もプラスちゃんは大人気。「プラスちゃんに会いに来ました」と伝えてくださる方もいて、プラスちゃんも大感激でした。おなじみのご当地キャラクターとも仲良く記念撮影をしました。

「プラダン1万」のメンバーがポーズをレクチャーします。

ご協力いただいた方にファイルをプレゼント。

**志木市民まつり (12月1日)**  
@いろは親水公園

今回は「プラダン1万」のメンバーと一緒に参加。プラスちゃんダンスを延べ1万の方に踊ってもらうのがプロジェクトの目標。プラスちゃんポーズをしてくださった方にオリジナルファイルを配布しました。

**ココフレンド (12月27日)**  
@新座市立野火止小学校

好きな色のバンドを2本組み合わせてリースを作ります。

「ココフレンド」は「子どもの放課後居場所づくり事業」の愛称です。30名ほどの参加者に、クラフトバンドを使ったリース作りを体験してもらいました。

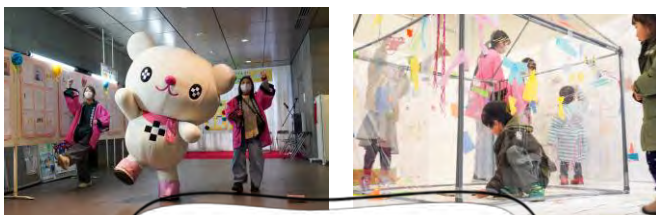


色とりどりの作品!

**チャレンジスクール (2月1日)**  
@さいたま市立仲町小学校

重曹にアクリル絵の具を混ぜて、キャンバスを自由に彩る「重曹アート」にチャレンジ。個性が感じられる作品ができあがりました。

**あさか産業フェア (2月2日)**  
@朝霞市産業文化センター

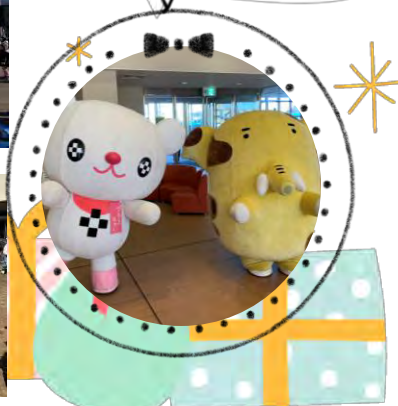


ダンスをしたり、グリーティングをしたり、出展ブースは大賑わい。



**チャリティーもちつき大会 (2月8日)**  
@新座市野火止ふるさと広場

2025年度も、いろいろな活動を頑張るプラ~♪よろしくプラ(❖❖❖)ノ



# ボランティアセンター 後期 活動報告

ボランティアセンターでは、ボランティア活動を通して学生たちが身につけた社会性や自主性を、地域社会に活かせるよう支援しています。今年度より、学生スタッフ、のびのび+ぶらす、この和の3つの有志団体が活動しています。

## 能登半島大雨災害義援金の呼びかけ

10月16日(水)昼休みに、9月に発生した能登半島大雨災害によって被災されている方へ向けた義援金の呼びかけを、学生スタッフと有志学生10名で行いました。募金活動の準備では、「祖母の地元であるため、力になりたい」という学生や、当日参加できない代わりに募金箱を作成してくれた学生もいました。そうした学生の思いに多くの方がご協力くださいました。今回、お寄せいただいた募金の総額は26,860円でした。(募金箱4箱分も含む)お寄せいただいた義援金は、「日本赤十字社石川県支部、石川県共同募金会」へ送金し、石川県が設置する義援金配分委員会を通じて、石川県の被災された方へ送金しました。



## 作って届けよう!制作ボランティア



お届けした作品は、ボランティアセンター Instagram(@jumonji\_vc)よりご覧いただけます

夏休み前に、近隣の病院に飾る壁面飾りと入院されている方にお渡しする誕生日カードに貼る折り紙の「制作ボランティア」を募集しました。さまざまな学科・学年の学生が参加してくれ、夏休み期間ということもあり、ご家族の方と一緒に作成してくれた学生もいました。また、折り紙制作には、幼児教育学科 実習指導室の教職員の方たちも協力してくださいました。今回の活動について、病院の広報誌に掲載され、また職員の方たちから多くのメッセージをいただきました。



職員の方たちからいただいたメッセージ



院内数か所に飾られており、患者さんだけでなく、ご家族の方も楽しみにしてくださっているようです



広報誌「ベトレハムの風 127号」より

## 学生スタッフ

## あひる交流会



10月20日(日)、障害者を支援する団体「あひる」と連携して、交流会を開催しました。学生スタッフが中心となり、有志学生、人間福祉学科佐藤ゼミの3年生とともに準備しました。「食べよう!遊ぼう!あひる祭り!」をテーマに、学生自作のレクを参加者みんなで遊び、学生・仲間(障害のある方)・あひるのボランティアの方とともに交流しながら昼食を食べ、大変楽しい一日になりました。



## のびのび+ぷらす

## フードドライブ



のびのび+ぷらすでは、12月9日(月)・10日(火)・13日(金)に「新座子育てネットワーク」と共催で、フードドライブを行いました。当日はチラシを配布しながら、活動を周知することから始めました。3日間の開催だったため、「次の開催日に食材を持ってくるね」という言葉や、活動に対する応援の言葉をいただけて、やりがいを感じました。食べきれない食材等を持ってきてもらうフードドライブでは、開催を知っていただかないことには

寄付ができないため、実施前は、寄付が集まるか懸念していました。しかし、3日間を通し、多くの食材を寄付していただき、とても嬉しかったです。無事に「新座子育てネットワーク」の方へお渡しすることができました。ご寄付いただいた食品は、ひとり親家庭を対象としたクリスマスパントリーで配布され、活用されました。

## ことの和

## 障害者施設での読み聞かせ



12月14日(土)に「障害者多機能型事業所 新座みちしるべ」にて、ことの和の学生が活動を行いました。活動内容は、拡大写真から何の食べ物か当てる「食べ物クイズ」、『はらぺこあおむし』と、『雪の結晶』のおはなし会、座ってできる「歌の体操」と盛りだくさんでした。そこで、利用者の方に興味を持っていただけるよう、大型絵本やしかけ絵本などを持参しました。また、学生1人がクラリネットを吹けるということで、「歌の体操」では楽器を取り入れました。利用者の方の中には、手足を自由に動かさない方、歌うことが難しい方が



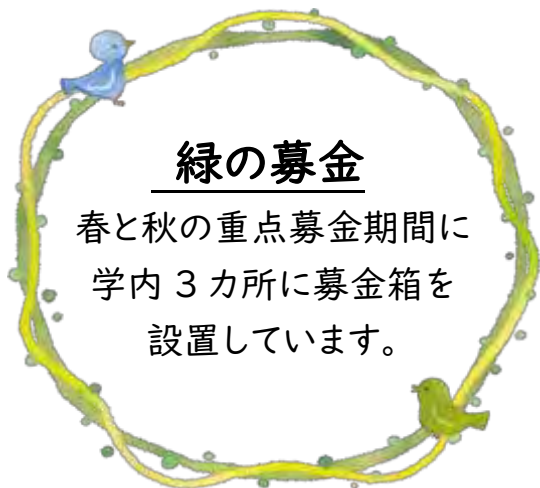
いらっしゃいます。そのため、利用者のみなさんは、学生が演奏する「きらきら星」に合わせて、歌を歌ったり、体操をしたり、音の鳴る楽器を自由に鳴らしたりと、それぞれの参加の方法で、賑やかな空間を楽しんでくださいました。

毎年、本学では社会貢献活動の一環として、  
全学を挙げて募金活動に取り組んでいます。



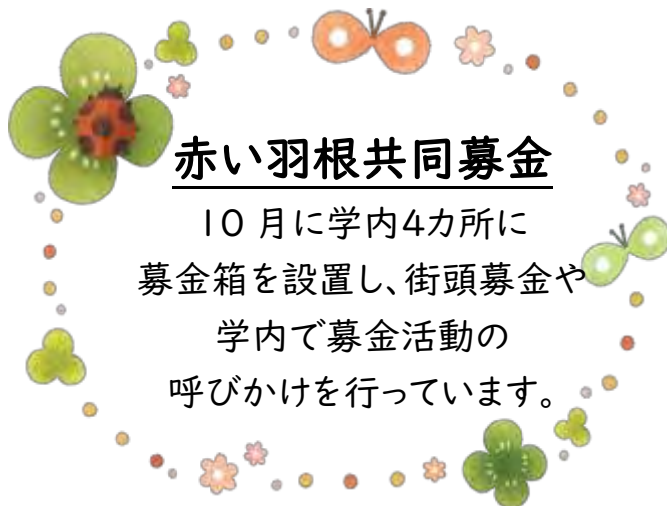
### 緑の募金

春と秋の重点募金期間に  
学内3カ所に募金箱を  
設置しています。



### 赤い羽根共同募金

10月に学内4カ所に  
募金箱を設置し、街頭募金や  
学内で募金活動の  
呼びかけを行っています。



新座市社会福祉協議会とともに  
10月2日(水)に、人間福祉学科佐藤  
陽教授ゼミ生が新座駅前にて、街頭  
募金を行いました。社協職員と打ち合  
わせをして、募金の使われ方を分かり  
やすく伝えながら元気に呼びかけを行  
いました。



10月22日(火)には、ボランティア  
センター学生スタッフと有志学生で、募  
金活動を行いました。好きなキャラクタ  
ーグッズをきっかけに募金に協力してく  
れた学生が多くいました。



- ・地域連携推進課
- ・地域連携推進センターボランティア部門
- ボランティアセンター



## 地域連携推進課



他大学や地域との連携を積極的に推進し、学生たちが地域に寄り添いながら社会に貢献できる人になれるよう、学外での活動の幅を広げています。

活動の様子

### ●ふるさと支援隊

少子高齢化や過疎化が進む埼玉県  
の中山間地域を元気にする活動です  
(2024年度は横瀬町、皆野町、  
ときがわ町で活動)。



### ●小学生の学びをサポート

「子ども大学しき・にいざ」の学生  
スタッフとして、グループワークや  
実技をサポートします。



### ●産学連携・地域貢献

大学での学びを活かし、地域との  
交流活動に積極的に参加しています。



## TJUPの活動



県内の20大学が加盟する埼玉東上地域大学教育プラットフォーム。  
他大学とともに地域の活性化に取り組んでいます。



子ども向け  
ワークショップ



高齢者を対象にした  
介護予防講座



他大学の学生や  
教職員と美化活動



小学生向け  
野球体験教室

本学との連携に関してのご連絡

地域連携推進課

ext@jumonji-u.ac.jp





発行 十文字学園女子大学  
地域連携推進課

TEL:048-477-0958(直通)



2025.3発行